

ANDREY VLADIMIROVICH KOZYREV

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Foreign minister of Russia (1991-96)
- Private entrepreneur & top business executive



Andrey Kozyrevは1991年から96年までBoris Yeltsin大統領の下でロシアの外務大臣でした。

Andreyは強引なクーデターに反対してYeltsinに立ち向かい、プロッタが数日以内に失敗しなかったときに亡命して政府を設立するためにパリに飛んだ。彼は後にソビエト連邦を解散するという決定がなされたロシア、ベラルーシ、そしてウクライナの指導者たちの1991年12月の会議に参加しました。彼は新ロシアの最初の外相に任命された。彼はソビエト支配から解放された新しく独立した州との平等な協力の方針を追求しました。米国および他の西側諸国との戦略的パートナーシップ中国、韓国、日本との隣人関係。

Topics

- Globalisation
- Management
- Politics
- Russia
- Strategy

1995年の秋、寡頭政権が引き継がれ、ロシアの外交政策がより保守的な方向に向かっていたため、彼は圧力を受けており、エリツィンを含む一部の人々から「親欧米」として批判された。アンドレイは首都ムルマンスクの選挙に成功し、次の4年間は新しいロシア議会でそれを代表した。彼は外務大臣を辞任し、今度は自由主義的な民主主義と西側との同盟のための公の運動が聴覚障害者の耳に降りかかった、そして彼は彼のDuma命令の終わりに政治を放棄した。

彼の政治的経歴を終えてから、彼は起業家として、そしていくつかの国際的なそしてロシアの会社の役員としてビジネスに入った。現在は、ITB銀行、Orange RussiaおよびSwedish / Swissの投資ファンドの取締役会の議長を務めています11。

Andreyのユニークな政治的経験とビジネス経験の組み合わせにより、彼はロシアの政治や経済学、ロシアに投資する機会とリスク、そして地域や世界の問題について話すことができます。